

学校評議員会の実施報告書

学校名 岐阜県海津特別支援学校

学校長 石原 和寿

所在地 海津市平田町今尾 3885-2 電話 0584-66-2888

1 会議の名称

岐阜県立海津特別支援学校 学校評議員会 (第2回)

2 会議の構成

学校評議員

児玉 泉 民生委員 (主任児童委員)

水谷 芳郎 有限会社吉野屋 代表取締役

細井 豊年 海津市平田町今尾地区 前区長

高岡 由香 障がい者センター あいさんハウスぎふ 施設長

大橋 恵美子 共同生活援助 れんげの家所長

学校関係

石原 和寿 (校長) 佐藤沙奈恵 (PTA 会長) 武藤小百合 (事務長)

神谷佳代子 (教頭) 栗原 正美 (小学部主事) 伊藤 智子 (中学部主事)

佐藤 鈴子 (高等部主事)

3 会議の目的

学校運営等について関係諸機関や地域住民から幅広く意見を聞き、地域社会から支援協力を得て、開かれた特色ある学校づくりを推進する。

4 会議の開催

第2回 令和3年2月 書面開催：学校への提言等

5 会議の概要

① 2月5日 資料等配付 →2月19日までに返信

② 資料等から学校の教育活動への意見等

③ 学校評価アンケートの結果から学校の教育活動への意見等

6 意見

【学校の教育活動について】

意見1：新型コロナウイルス感染症の影響で、児童生徒が楽しみにしていた行事が、中止・変更になりとても残念でしたが、先生方が様々な工夫をし、対策もとり、

学校生活が楽しめて良かった。

地域の銀行で、「作品展」「学校だより」を見ました。「学校を知ってもらう」ためにも継続してほしい。「子どもたちも頑張っているな」と感じます。

意見2・年間行事の多くが中止・縮小の中、それぞれ工夫されている点、大変ご苦勞のことと思います。ただ、本当に子どもたちにとって貴重な経験ができなかったのは残念です。また、教育の現場では、何よりふれあいや接触が制限されるのは先生方にとっても歯がゆい状況ではないかと想像されます。一方で今まで当たり前前にできたことができなくなり、指導方法を改めて見直す機会になったのではないのでしょうか。

意見3：よく教育活動が保護者に理解され、問題なく展開されていると思う。働き方改革について保護者に理解してもらうのは難しいかもしれない。

意見4：コロナ禍の中の学校教育活動実践はとても大変な1年だったと思う。資料から感染症対策を念入りに講じ、子どもたちと活動をされる姿が感じられる。オンライン、タブレット等を活用する中で学び、経験が広がり、新しい挑戦ができる年度でもあったと思う。

人と人をつなぐ（学校と学校等）ことも本当は直接会えることが本意かもしれませんが、様々な工夫により、人と人がつながれる体験ができたことは素晴らしい。今後も新しい活動と体験を工夫してください。

意見5：昨年度に引き続き、新型コロナウイルスの対応については大変苦慮されていることと資料から推察される。学校生活での、毎年度行われている入学式をはじめ、運動会、文化祭、校外活動、修学旅行等の行事が当たり前ではなくなり、行事の精選と内容の吟味が求められた1年だったと思う。そのような現実の中でも中学部・高等部の修学旅行は日帰りながら実施されたことは、職員の皆さんのご苦勞の中、生徒さんたちもよい思い出ができたのではないかと。また、文化祭も人数制限はあったものの保護者が参加できたことは保護者にとって子どもの成長を見ることができたうれしい機会だったと思う。更に地域に根ざした学校として、長年他校との交流を続けていることを称賛する。今年度は贈り物で遊ぶとかオンラインという形での実施となったが、同じ年代や地域の方々とふれあい、障がいの理解をしていただき誰もがあたり前に生きていく素地づくりを考えると、今後も大切していただきたい。「ひびきあい活動」もお互いのいいところを見つけ合うというところがよい。

働き方改革も含めて、今年度が学校行事を見直す良い機会につながるとよい。

意見6：子どもたちの安全を第一に考え、取り組んでいただけたと思う。4・5月のオンライン授業はこのような中でも先生や友達の顔を見て話しをすることができ、子どもも安心して楽しく授業を受けることができた。

いろいろな行事が中止になったことは致し方ないことだとは思いますが、とても残念であった。来年度も同じような状況が続くかと思うが、子どもたちのために

も何とか行事ができないか考えてほしい。

【学校アンケートの結果について】

意見 7：先生方の努力が高評価につながったと思う。学校・保護者と野とても良い関係が強みである。

意見 8：保護者の方が協力的であることは大変うれしいことだと思う。また、総じて各項目において、高評価を得ていることは、素晴らしい。

意見 9：学校評価アンケートの 25～40 で E と回答している方が多いが、地域が絡んでくる関係上、コロナ禍では判別しづらかったものだと思う。

意見 10：コロナ禍での家庭との連携では、休校期間も含め対策を伝え、安心して通学できることにつながったと思う。

先生方子ども一人一人に来往し、熱心に取り組まれる姿は、放課後等ディサービス事業と学校との情報交流会等でとても感じた。先生方の思いを伺い、事業所としても協力連携できるところがある。今後も先生方の姿勢に寄り添いたい。学校と地域との交流活動がコロナ禍でも行われていることは、学校教育活動に生かされると思う。

意見 11：学校の教育活動が保護者の理解の上で行われていることがよくわかるアンケート結果だった。特に体罰やいじめなどの項目では 5 年前は 50 パーセント以上の保護者が「わからない」と回答されていたものが、今年度はさらに減少し、クリーンな学校活動をされていることが分かる。また、専門性、社会的常識、熱意等、職員に対する評価も高く、児童生徒や保護者に寄り添った教育活動が実践されていることが分かる。

高等部の生徒が地域の中で働くことを考え、海津市商工会青年部の方との活動を発展させていく構想も是非実現してほしい。

意見 12：地域の方たちとの交流、地域との連携については、今年度は難しいことだったと思う。来年度に向けて、インターネットによる作業製品の販売はとても良いと思う。

PTA としても地域に根差した学校として、何かできることはないか考えたい。

【学校への提言等】

意見 13：コロナ禍の学校生活大変ですが、ご指導をよろしくお願ひしたい。

意見 14：今後より一層地域での認知の向上が必要ではないか。地域の支援学校というイメージになればと思う。それには、現在の交流を更に深めていくこと、特にサポーターの青年部は発信力もあり、また、将来経営者になるメンバーですから、更なる交流を進めてほしい。手伝うことがあれば、させてもらいたい。

意見 15：体罰・いじめについては、実際に問題が起きたときに、どう対応するかが問題となる。進路指導における連携においては、どのように連携し、どのように話

し合うのかという記録があればよい。

意見 16：卒業後児童生徒の皆様が「地域で働く、暮らす」活動の場を福祉事業としてだけでなく、地域として連携の場が広がるよう努めたい。

学校教育の中で、地域とともに活動できる、地域を意識できる（個々の「自立」を考え、選択できる）、広がる経験がたくさんできることを望む。

意見 17：新型コロナウイルスの対応の中で、小規模校のメリットをふるに生かしていただき、教育活動を展開してほしい。

何が起きるか分からない昨今、災害も大きな不安である。日ごろの教育活動の中で「かけがえのない、いのち」を大切にする教育を一層展開してほしい。

意見 18：小学部・中学部・高等部みんな仲良く、先生たちも含めてとてもアットホームな笑顔が多い学校だと感じる。このまま来年度も笑顔が多い学校生活が送れることを望む。

7 会議のまとめ

- ・今年度の取り組み資料等をよく見ていただき、本校の教育活動についてご理解いただきました。学校評価アンケートから保護者と連携して教育活動を行っていることを評価いただいた。いただいた貴重なご意見を参考に今後の活動に生かしていきたい。